

高校生による子ども条例制定に係る意見発表会について

1 経緯

子ども条例を制定するためには、子ども自身からの意見収集も重要であることから、その手法の一つとして市内都立高校（副校長）へ生徒会役員との意見交換の場の設定について協議した。結果、学校側（都立神代高校副校長）からの意見として、行政に対して意見を言える場の設置については、生徒にたいへん貴重な経験をさせられるとのことから、積極的に取組み、協力したい。また、これを機に、市内の都立高校生徒会交流を実施できないか。との提案があった。

当初、子ども部会などの設置について検討した経緯もあり、本提案の実施に向け調整を行い、子ども条例制定準備に係る意見収集の場のひとつとして位置づけていくことといたしたい。

2 目的

市内に在籍する子どもたちから、調布市に対する意見を直接収集することにより、子どもの視点からの問題点を的確に把握し、次世代育成支援のための課題を解決するための条例づくりに反映させる。

3 実施方法（予定）

(1) 時期

平成16年9月～11月

※ 第2学期は、生徒会役員改選、文化祭、修学旅行、中間試験などの学校行事が多数あるため、3校の日程調整が密に必要である。

(2) 会場

調布市文化会館たづくり大会議場又はむらさきホール等

(3) 曜日設定

土曜日又は日曜日午後の2時間程度

(4) 対象者

都立高校3校各生徒会役員10人程度 計30人（一般市民の傍聴参加も可能とし広く広報する。）

(5) 行政側出席者予定

市長又は助役、子ども生活部長等

- (6) 会議名称
～子どもシンポジウム～
調布の 子どもによる 子どものための 行政への提言
みんなでつくろう みんなのための 調布市子ども条例
子ども？ それともおとな？ 高校生は中間世代！
- (7) 進行役
3校の生徒の中からお願いできないか検討調整し、不可であれば事務局職員（若手）
- (8) シンポジスト（まとめ役として）
庄司順一氏
- (9) 議論テーマ
可能であれば、「子どもを取り巻く環境～家庭・学校・地域～について」（広義テーマ）
困難が予測される場合には、
「駅前の環境について」、「われわれの居場所について」、「友達について」、「親について」、「将来について」、「地域社会で自分たちにもできること」、「子どもと大人の接し方、理想の大人像」、「調布市の好きなところ・嫌いなところ」、「行政に対する意見・要望を伝える窓口について」など、狭義テーマを1～2題を学校側と事前調整のうえ、当日に意見をもらう。
- (10) 結果について
提言を要約し報告書（提言集等）を作成、後日市長へ提出
条例制定後、意見がどこにどのように反映されたのかを報告する。
また、参加者（傍聴参加者を含む）にシンポジウム終了後、アンケートを実施し取りまとめを行う。
- (11) その他
提言内容を報告書として作成し、準備委員会へ配付する方法もあるが、できれば、委員も当日出席を依頼する。